

メンタルヘルス不調による 休職・復職の実務対応

企業経営において従業員の健康が意識されるなか、メンタルヘルスケアの問題は重要な課題となっています。長時間労働の抑制や多様な働き方が推進される一方、入社後間もなく欠勤される人が散見される等、欠勤・休職・復職の実務対応で悩まれている担当者の方は多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、欠勤から始まる休職・復職制度の実務運用について、規定例や事例を交えながら解説いたします。

日 時

令和5年 **8月25日** (金)
10時～16時30分

受講料

10,000円/名 (消費税込)

受講方法

① 会場受講

**ウインクあいち
17階セミナールーム**

名古屋市東区名駅四丁目4-38

② Web受講

Zoomウェビナー使用

講師

社会保険労務士法人トムズコンサルタント
代表社員 特定社会保険労務士

小宮 弘子 氏

お申込み
お問合せ

ホームページから又はFAXにてお申込みください。

公益財団法人 愛知県労働協会 労働教育グループ
〈ホームページ〉<https://ailabor.or.jp>
〈TEL〉052-485-7154 〈E-mail〉rodo@ailabor.or.jp

お申込みいただいた方には、受講票・連絡事項・受講料振込用紙等をお送りします。
お申込み後2週間を過ぎても受講票等が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

プログラム

1 メンタルヘルスケア対策の必要性

2 メンタルヘルス不調と労務管理の基礎知識

- ① メンタルヘルス不調者の状況 ③ 精神疾患の労災認定基準
- ② 精神疾患の特徴 ④ 人事・産業医と主治医の立場の違い

3 リモートワーク等におけるストレスと対策

- ① OnとOffの切り替え ③ 雑談のない孤独感
- ② リモートハラスメント ④ リモートワークを意識したマネジメント

4 初期段階での対応

- ① 従業員のSOSを見逃さない
- ② メンタルヘルス不調の兆候が見られたときの対応【個人ワーク】
- ③ 受診命令ができるか
- ④ 初期段階対応のフロー

5 休職制度と運用

- ① 休職制度の目的と休職までのフロー
- ② 復職を意識した休職前の留意点 (決めておく事項、説明する事項)
- ③ 休職中の管理と留意点
- ④ 休職制度と要配慮個人情報

6 復職制度と運用

- ① 休職から復職までのフロー ⑥ 復職後の配置、職務、賃金等の労働条件
- ② 復職の成否を分ける復職準備 ⑦ 復職後のフォロー
- ③ 試し出勤制度の位置づけ (管理職が行うべきこと、同僚として気をつけること)
- ④ 職場復帰の可否判断(治療の扱い) ⑧ 復職できない場合の取扱い
- ⑤ 復職問題とテレワークの扱い ⑨ 休職と復職を繰り返す社員への対応

7 メンタルヘルス不調と人事労務管理

- ① 採用選考 ③ 人事異動の留意点
- ② 試用期間と休職制度 ④ 休職期間中の各種対応

8 メンタルヘルスケアと予防措置

- ① 予防措置の重要性
- ② 仕組みでできる予防措置
- ③ コミュニケーションの重要性(相手も自分も尊重)【個人ワーク】
- ④ 管理職に求められる役割

【受講申込書】メンタルヘルス不調による休職・復職の実務対応

Y7

FAXでのお申込みはA4のまま切りとらずにお送りください。

FAX.052-583-0585

受講方法選択 (いずれかに○)		①会場受講 ・ ②WEB受講(受講者 E-mailアドレス記入)	
受講者氏名	フリガナ	連絡先及び連絡先住所 (勤務先・自宅) ○印をつけてください	
		住所 〒	TEL(日中連絡のつく番号をご記入ください)
	性別	年齢	歳
フリガナ 連絡者 氏 名			
受講者【E-mail】(招待用URL送付先) ※WEB受講の場合は必ずご記入ください。			
メールマガジン 配信希望の方は <input type="checkbox"/>			

※お申込み頂きました個人情報(氏名・住所等)は、お問い合わせや案内文書の送付、返信、本人確認のためのみに使わせて頂きます。(公益財団法人愛知県労働協会個人情報保護規程第4条に基づき取り扱います。)

【主催】公益財団法人 愛知県労働協会 【後援】愛知県・愛知県労働者福祉協議会